

鳥取新時代の実現を目指して

1. はじめに

青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々。鳥取県は豊かな自然に囲まれています。こうした環境のなかで、二十世紀梨をはじめ、数々の農産物が生産され、松葉ガニやマグロなどの新鮮な海の幸が水揚げされます。

去る8月29日、ついに「食のみやこ鳥取プラザ」が東京・新橋にオープンしました。食のみやこ鳥取プラザは、鳥取県の魅力を情報発信しながら、鳥取県の旬の農林水産品、加工品の販売や県産素材を活かした料理の提供を行うアンテナショップです。

オープニングセレモニーでは、「ゲゲゲの鬼太郎」の産みの親である境港市出身の水木しげる先生などによるくす玉割が行われ、鬼太郎やねずみ男、リアルこなき爺が会場を盛り上げました。



「食のみやこ鳥取プラザ」オープニングセレモニー

当日はセレモニーを見学される方や二十世紀梨など県産品を求める多くの買い物客、レストランで早速鳥取の味を楽しむ方々にぎわい、大盛況でした。

東京にお越しの際は、新橋（JR新橋駅銀座口か

ら徒歩1分）の「食のみやこ鳥取プラザ」に是非ともお立ち寄りください。新しい発見があると思います。

2. 次世代改革

さて、私は昨年4月の知事就任以来、鳥取に新たな時代を切り拓く「次世代改革」に取り組んでいます。

厳しい財政状況のなか、大都市と地方との地域間格差、地方分権及び道州制をめぐる問題、さらに少子高齢化への対応など、このようななかであっても、これまで鳥取県が行ってきた数々の改革、全国にその名をとどろかせる鳥取県の改革を継続していかなければなりません。これまでの改革では、透明性の確保などにより県庁の在り方を変え、予算の執行、公共事業の在り方を見直すということなどがテーマとなり、一定の成果は得られたと思います。

しかし、一方では産業や地域の活力について閉塞感を訴える声があるのも事実で、単に改革を継承するだけでは、地域間競争に取り残されてしまうと思っています。

私は、改革を次の段階に押し上げる次世代改革を行うため、「次世代改革推進本部」を組織し、「元気な産業 しっかり雇用」、「人間第一 環境第一」、「学び育み 輝く文化」、「安全・安心 いきいき地域」、「県民サポート クリーン県政」の5つの柱のもとに、政策の立案と執行を進めています。県民の県政参画のもと、破綻を回避しながら財政運営の弾力化を進め、今まで以上に経済振興に重点を置き、改革の果実を県民と地域に還元していくことが重要であり、鳥取県の新時代を切り拓いていきたいと考えています。

鳥取県知事 ひら い しん じ
平井 伸治



3. 鳥取新時代の実現を目指して

現在、原油価格の高騰に伴い、県内でも灯油・ガソリンなど石油製品に加え、食品や原材料価格が急激に上昇しており、県民生活や県内の企業活動に影響がみられることから県内経済の景気対策が待ち望まれています。また、国の交付税改革、道路特定財源の取り扱いの影響などから税財源の確保が困難な大変厳しい状況にあります。

しかし、そうしたなかにある今こそ、本年は県民の夢と希望を盛り込んだ「近未来の将来ビジョン」を策定し、希望あふれる「鳥取新時代」の実現に取り組んで行くこととしています。

経済の振興を図り、雇用の場を確保することは急務であり、昨年策定した「地域産業活性化基本計画」、「地域資源活用計画」等を実行に移し、県内産業の事業拡大や企業誘致を精力的に展開したいと考えています。

また、北東アジアとの地理的優位性や社会・経済的な結びつきの強さを活かし、境港の機能強化と高速交通ネットワークの整備等により、環日本海諸国との貿易・物流の西日本における拠点・ゲートウェイとしての機能を確保していきます。その取り組みの一つとして、国際経済・観光交流を促進するため、来年2月には境港～東海（韓国）～ウラジオストク（ロシア）を結ぶ新たな国際定期航路の開設が予定されています。

さらに、素晴らしい食材を県外・国外に売り出していく「食のみやこ鳥取」として、冒頭に紹介したアンテナショップの設置や人口減少の流れを食い止め地域の活力を高めるため、昨年末に設置した「鳥取県移住定住サポートセンター」の総合窓口を充実させ、新たな人材、定住者を呼び込んでいきたいと考えています。

社会資本整備においては、関係機関の協力により、今春、鳥取自動車道、山陰道などの供用区間が延伸され、高速道路網の整備が進んできました。米子空港の滑走路2,500m化も平成21年度中の供用開始を目指して進んでいます。これら交通基盤の整備を推進しながら、河川改修、砂防事業などの防災対策も含め、引き続き価格と品質に優れた公共施設の整備を進めるとともに、安全・安心な県土づくりに力を入れていきます。

また、これらの公共施設がまちづくりや地域活性化につながるよう県民・企業・NPO等との協働や連携の仕組みを考えていきます。



米子空港2,500m滑走路延長

4. おわりに

鳥取新時代を目指した伸び伸び改革は、多くの困難を乗り越えていくため、県民がともに考え行動する県民運動でなければならないと考えます。ひとり県庁だけ、知事だけが取り組んでも地域の発展という果実は得られません。これからの県政は、「県民が主役で担い手となる県政」だと考えています。